

事業名	市民参加による遊休農地解消事業及び農業理解の促進に関する事業		
団体名	藤沢市新規参入者連絡会	担当課名	農業水産課・農業委員会事務局
事業期間	2018年(平成30年)4月1日～2019年(平成31年)3月31日		
事業費	1,351,950円(うち藤沢市負担金1,340,500円)		
目的	<p><事業の目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の農業への理解促進 ・荒廃農地の解消 ・新規就農者の経営農地拡大 <p><協働の目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地を拡大し、経営規模の拡大を図るとともに、都市部において安定的に営農を継続していくため、近隣住民の農業への理解を深めてもらう。 ・荒廃農地に関する様々な要望・苦情について、実際に農地を開墾する手法が行政側にないため、農家の力を借り、荒廃農地の解消を果たす。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・農家がボランティアや地域住民とともに荒廃農地を開墾し、継続的な営農を行うことができる状態に復元する。 		
達成度・成果・効果	<p><事業の達成度> 団体 124% 担当課 80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家が地域住民及びボランティアとともに開墾作業を行い、2か所の開墾が完了。開墾が未終了の2か所については、農家が主導となり引き続き作業を行う。 ・荒廃農地解消面積7,476㎡ ・生産面積2,447㎡ (今後の生産拡大面積5,029㎡) ・近隣住民及びボランティアも多数参加した。 <p>①開墾作業 日数:32回 出席者数:延べ約50人 ②生産作業 日数:20回 出席者数:延べ約30人 ③収穫祭 開催:1月19日 参加者数:33人</p> <p><協働の達成度> 団体 100% 担当課 80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地主との橋渡しや、ボランティアの募集など、お互いの役割を生かして事業を進めた。 ・農家のノウハウにより、荒廃化した農地の開墾を行うことができた。 ・開墾に必要な作業、費用等について、農家から、担当課が知見を得ることができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">開墾作業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">生産作業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">収穫祭</div> </div> 		
課題・対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・農業という不規則な案件のため、予定通りの作業が困難だった。期間が2年では短い。 ・地域住民への農業理解の促進が足りなかった。今後は様々な機会を活用してアピールしたい。 ・本来は荒廃農地を発生させないことが重要。 ・中間報告の際に、ボランティアの方の参加が少ないと指摘があった。今後の作業の周知方法や、安全管理の体制について引き続き団体と協議する。 		